

呉工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	コミュニケーション英語II
科目基礎情報					
科目番号	0008		科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	一般科目		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	伊東治己ほか『New ONE WORLD: Communication II』(教育出版) および 『チャンクで英単語 Standard』(クラウン)				
担当教員	市崎 一章				
到達目標					
1.教科書および副教材『英単語 Value 1400』の新出単語や表現を使えるようになる。 2.教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言えるようになる。 3.日本語と英語の根本的な発音要領の差を認識できるようになる。 4.英語特有の発音要領をより自然に再現できるようになる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	教科書および副教材『英単語 Value 1400』の新出単語や表現を適切に使うことができる		教科書および副教材『英単語 Value 1400』の新出単語や表現を適切に使うことができる		教科書および副教材『英単語 Value 1400』の新出単語や表現を適切に使うことができない
評価項目2	教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言うことが適切にできる		教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言うことができる		教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言うことができない
評価項目3	英語特有の発音要領をより自然に再現できる		英語特有の発音要領を再現できる		英語特有の発音要領を再現できない
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	テキストの音読と精読を通して、語彙を増やし、文法の知識を身につけると共に、読解力の育成を図り、表現力を向上させる。				
授業の進め方・方法	ホームルームでの演習 (週3時間)				
注意点	予習・復習を徹底すること。授業では、大きな声で発話するよう心がけよう。自分の考えを皆の前で表現できるよう、積極的な学習姿勢が求められる。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	概要説明 Warm-up	■ホームルームでの言語演習 1. 英語の聴き取り・発音の練習と、英文の読解及び、より自然な日本語になるよう和訳を工夫する。 2. 二週間に一度のペースで、単語の試験を実施する。	
		2週	Lesson 1-1		
		3週	Lesson 1-2		
		4週	Lesson 1-3		
		5週	Lesson 1-review 他		
		6週	Lesson 2-1		
		7週	中間試験		
		8週	答案返却・解答説明		
	2ndQ	9週	Lesson 2-2		
		10週	Lesson 2-3		
		11週	Lesson 2-review 他		
		12週	Lesson 3-1		
		13週	Lesson 3-2		
		14週	Lesson 3-3		
		15週	期末試験		
		16週	答案返却・解答説明		
後期	3rdQ	1週	Lesson 3-review 他	■ホームルームでの言語演習 1. 英語の聴き取り・発音の練習と、英文の読解及び、より自然な日本語になるよう和訳を工夫する。 2. 二週間に一度のペースで、単語の試験を実施する。	
		2週	Lesson 4-1		
		3週	Lesson 4-2		
		4週	Lesson 4-3		
		5週	Lesson 4-review 他		
		6週	Lesson 5-1		
		7週	Lesson 5-2		
	4thQ	8週	中間試験		
		9週	答案返却・解答説明		
		10週	Lesson 5-3		
		11週	Lesson 5-review 他		

		12週	Lesson 7-1	
		13週	Lesson 7-2	
		14週	Lesson 7-3	
		15週	学年末試験	
		16週	答案返却・解答説明	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
			英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
			英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
			リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
			語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
			文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
			文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
			中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	前1,後1
			自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2	前1,後1
			中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	前1,後1
		高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	前1,後1	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	90	0	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0